

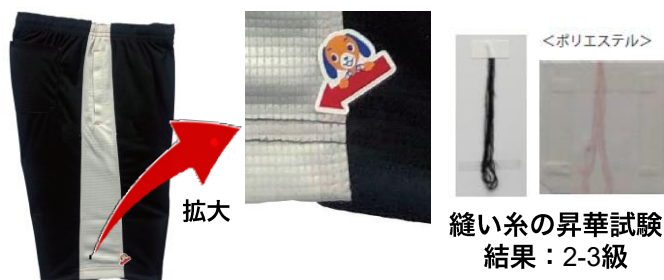
夏場の輸送・保管時には“昇華”に要注意！

～ JIS L 0854 昇華に対する堅ろう度試験について～

本格的な夏の到来です。この時期になると繊維製品の昇華に関するお問い合わせが多くなります。地球温暖化により、中国や東南アジアからの生地や衣料品の輸送・保管中、コンテナ内での長期高温で“昇華移染”のリスクが高まっています。夏場の高温下には、事前に昇華の確認と対策をしっかりと行っておくことをお勧めします！

輸送・保管時の昇華による移染事例

- 保管していたら裾の縫い糸（黒：ポリエステル）付近がピンク色に移染した。
- 納品された商品を開封したら、下札に色が移っていた
- 縫製していたら手が黒くなった。
（摩擦堅牢度不良も要因となることがあります）



JIS L 0854 昇華堅ろう度試験の説明

1. 40×100mm（もしくは60×60mm）の試料を採取し、**添付白布**（一般的にはポリエステルと綿）を取付け複合試験片を作成する。
2. 試験片をステンレス鋼板の間に挟み、汗試験機に取り付け12.5kPaの圧力が加わるようにおもりを載せ固定する。
3. 汗試験機を**120℃±2℃**の温度に保った乾燥機中に入れ、**80分間乾熱処理**をする。
4. 乾熱処理後、放冷し判定する。

カスタマイズ

添付白布の代わりに製品に使用する淡色生地や下札などでも試験可能です



カスタマイズ

温度や時間を任意に変更できます。



昇華による移染対策・未然防止策

- ✓ 染色後の還元洗浄をしっかりと行う
- ✓ 適切な染料の選択をする
- ✓ 生地工場内における昇華試験による堅牢度確認

還元洗浄は
ハイドロサルファイト洗浄とも
呼ばれているよ



海外ボーケンでは昇華試験など各種試験の手合せや、生地工場で働く従業員（品質管理・試験従事者）への教育支援を実施してます。苦情の未然防止のため、一緒に正しい試験手順で試験精度向上を目指しませんか。品質でのお困りごとは現地で解決！ お気軽にご相談ください。

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

海外事業本部

中国営業担当 松本 真哉

Tel: +86-519-8580-7907

Mail: s-matsumoto@boken.or.jp

海外事業本部

アセアン営業担当 村松 慶一

Tel: +84-28-3816-5170

Mail: k-muramatu@boken.or.jp



お問合せフォームリンク